

5 地域の課題

- 5-1 交通（モビリティ）の課題
- 5-2 商業賑わいの課題
- 5-3 情報・その他の課題

5-1 交通（モビリティ）の課題

【周辺施設と人口の高齢化】

○周辺施設の立地

- ・商業、病院等は駅周辺に集中し、大学、公園等は3km圏内に複数立地。

○人口の高齢化と若者世代の定着

- ・駅南側の住宅地では特に高齢化が高い割合
- ・20-29歳の人口は横ばい又は微減も前後の世代は減少

【鉄道とバス、タクシー、自転車等】

○鉄道利用と駅端末の状況

- ・乗降は日6万人、駅端末利用の8割が徒歩
- ・過去10年はバス、車、自転車の割合が増加

○バス・タクシー・自転車等の乗換

- ・駅前交通ターミナルには、16系統が発着し、乗車バス停が6か所存在するも、リアルタイムのバス案内情報板等は未設置
- ・タクシー乗り場は駅南側の駅前ターミナルに1か所
- ・公営自転車等駐車場は6か所あり、定期利用中心
- ・パーク&ライドに利用しやすい1日最大料金の導入は4駐車場

○鉄道とバス・タクシー・自転車等の地区内移動

- ・バスは朝6時台から夜24時台まで運行の路線も存在
- ・ベビーカー利用時はバス利用をためらうとの意見
- ・自転車シェアリングは南大沢駅周辺は未導入
- ・居住者でバス、鉄道の情報の一元化への関心

○車による駅周辺アクセス・駐車

- ・居住者で送迎場所が不便や駐車場が混雑との意見

【公共交通サービスへの懸念】

- ・バス、タクシー等の担い手は高齢化や大量退職が懸念
- ・人手不足により現状のサービスレベル維持は困難の懸念
- ・市ではボランティアによる高齢者運送支援の対応

【丘陵地からの駅・バス停アクセス】

○高低差や手荷物移動

- ・駅までの徒歩等の移動は丘陵地の高低差で負担大
- ・高齢者、子連れで買物荷物の手持ち移動は、特に負担大
- ・歩行者ネットワークは施設内を経由する経路も存在

○バス乗降時の負担

- ・住宅からバス停まで離れている、階段やスロープとなる場所が複数
- ・高齢者は階段、坂の上り下りに大きな負担
- ・遅延等発生時は到着時間が不明の状況で待つ必要

【将来動向・計画】

○東京都

- ・先端技術等を取り入れたまちづくりを推進（「未来の東京」戦略ビジョン）
- ・自動運転車を導入したフィーダー交通等（都市づくりのグランドデザイン）
- ・自動運転の実現に向けた検討（多摩ニュータウン地域再生ガイドライン）
- ・5G環境を活用した研究・実証実験等を推進（スマート東京実施戦略）

○八王子市

- ・「地域間の移動情報の充実」「歩きやすさと賑わいの創出に向けた交通環境の改善」（交通マスタープラン）
- ・移動しやすい交通環境づくり（都市づくりビジョン八王子）

課題

○丘陵地の高低移動の負担軽減

○住宅団地から駅・バス停までのアクセス交通の確保

○鉄道とバス・タクシー・自転車等との円滑な乗換

○バス、タクシー、自転車等の地区内の快適な移動

○ICTや先進的モビリティサービスを活用した人や環境にやさしい地域交通の確保

5-2 商業賑わいの課題

○商業賑わい関連施設立地等

- ・駅前にも多数の店舗が立地し、コンパクトな空間に駅前商業集積を形成。広域からも集客
- ・一部のビルには空き店舗スペースが存在
- ・利用の偏り、入庫待ち等の駐車場問題
- ・周辺ロードサイド商業は、場合により駅前商業と競合
- ・周辺には、レクリエーション機能を担う公園が分布

○周辺人口、来街者、イベント等

- ・周辺エリアの高齢化が進展。買い物の不便地域も存在
- ・南大沢駅の乗降客数は、駅開業以来年々増加
- ・駅前空間では多様なイベントも開催
- ・駅周辺では高齢者や手荷物移動等には負担大
- ・高齢者の外出促進の観点からも駅へのアクセス等が重要

○商業活動

- ・南大沢は市民も買物や食事によく利用する場所
- ・店舗はコロナの影響による売上減。ただし、スーパーは売上増加
- ・キャッシュレス決済の進展。商業者側にもメリット
- ・EC利用の増加
- ・宅配需要増でラストワンマイル配送の負荷大

○事業者ニーズ ※大手商業施設事業者

- ・まちの駐車場情報の共有、誘導策に関心
- ・丘陵地の自動配送に関心。宅配需要が伸びる一方、トラックドライバー不足によるサービス低下の危機感

○居住者・来街者ニーズ ※WEBアンケート結果

- ・居住者・来街者とも購入後の運搬の大変さ、駐車場問題を指摘
- ・来街者は、店の情報の不足を指摘する割合も高い。
- ・居住者・来街者ともキャッシュレス決済が必要との割合が高い。

【将来動向・計画】

○東京都

- ・先端技術等を取り入れたまちづくりを推進（「未来の東京」戦略ビジョン）
- ・マルシェや子育て支援施設、ビジネスマンや留学生の交流、インキュベーション、効率的な物流施設・荷捌き施設（都市づくりのグランドデザイン）
- ・地区センターとして商業・業務施設や医療・福祉・子育て施設等生活を支える機能（多摩ニュータウン地域再生ガイドライン）

○八王子市

- ・魅力あふれる産業でにぎわう活力あるまち（八王子ビジョン2022）
- ・南大沢は東部地域の地域拠点として、商業、業務、生活支援サービス等の都市機能を担う（都市づくりビジョン八王子）
- ・イベント支援、ITやスマートフォンを活用した魅力発信、販路拡大としての買物弱者対策等（八王子市産業振興マスタープラン）

課題

○まち案内等情報発信によるアクセス向上

○住民や来街者の回遊性・滞留性向上による賑わい創出

○駅前及び周辺地区での効率的な荷物搬送・物流の実現

5-3 情報・その他の課題

○高齢化や情報入手ニーズの多様化

- ・70歳以上のインターネット利用は低い割合
- ・高齢者のインターネット利用機器もパソコンが最多
- ・留学生の増加で情報の受け手・スキルの多様化

○新しい働き方や安心して快適な生活

- ・コロナ禍、ICTの進展により、テレワーク等の新しい働き方が増加
- ・サテライトオフィスやシェアオフィス等は、駅周辺で未設置
- ・コロナ禍で遠隔授業等も増加
- ・遠隔診療の導入に関心を持つ居住者は高い割合
- ・防犯や異常検知等まちの見守りに関心を持つ居住者は高い割合

○地区や施設の混雑把握や公開

- ・地区レベルにおいて、人の集散状況等の把握や公開
- ・コロナ禍において、一部施設での混雑情報等の把握や公開

○鉄道、バス運行者による把握や公開

- ・鉄道車内の混雑予測情報をスマートフォンアプリで公開
- ・駅前やバス停での案内板による路線や時刻の情報提供。バス接近情報は公開
- ・利用者は、複数交通間の情報や決済の一元化を要望

○低炭素なまちづくり

- ・再生可能エネルギーの導入や電気自動車等の普及、災害時のエネルギー確保による低炭素化への要望

○防災と情報

- ・5G等による災害時の輸送やリアルタイム情報の高度化
- ・リアルタイム災害情報提供に関心を持つ居住者が高い割合
- ・3Dデジタルマップとビッグデータによる災害予測の高度化

○5Gとまちのインフラ

- ・5Gの整備は一部地区から開始
- ・5G等の活用による自動運転タクシー、AR・VR、遠隔授業、遠隔医療等の多様なサービスの拡大・高度化が期待

【将来動向・計画】

○東京都

- ・先端技術等を取り入れたまちづくりを推進（「未来の東京」戦略ビジョン）
- ・イノベーションを創出するインキュベーション施設等（都市づくりのランドデザイン）
- ・先端的な技術の導入に資する実証フィールドの提供（多摩ニュータウン地域再生ガイドライン）
- ・5G通信技術やビッグデータの活用等による実証実験（スマート東京実施戦略）

○八王子市

- ・「低炭素な都市づくり」（都市づくりビジョン八王子）
- ・「地域資源を活用した新たなビジネス創出」（八王子市多摩ニュータウンまちづくり方針）
- ・「データに基づく政策形成」「AI、IoTを活用した新たなサービスの開始」（八王子市情報化計画）

課題

○コロナ禍における三密回避のための分散化

○誰もが安心して快適な地域の多様で即時性のある情報の活用や高度化

○多様な交流や連携を促進する機会や場の創出

○低炭素で環境にやさしく安全安心な質の高い地域拠点の形成